

平成30年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

第6学年

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
国語	<p>○随筆や物語を読んだ感想や推薦文などはほとんどの児童が書けるようになっている。しかし、順序立てて構成を考えたり適切な言葉を使ったりすることに関しては課題がある。</p> <p>○文を読んで理解する学習、大事な情報を落とさずに聞く学習は、ほとんどの児童ができている。一方、内容を読み違えたり大事な情報を聞き漏らしたりしている児童もいる。</p> <p>○漢字のだいたいの字形は分かっているが、とめ、はね、はらいなどが正確に書けない児童がいる。また、場面によって丁寧に書いたり書けなかったりする児童もみられる。</p>	<p>○読み手を意識したり、伝わりやすい構成や言葉選びをしたりして、積極的に伝え合う力を身に付ける。</p> <p>○大事な情報を落とさず、正しく読んだり聞いたりする力を身に付ける。</p> <p>○漢字を正しく覚え、正しく読む力を育てる。とめ、はね、はらい、文字のバランスを意識して書く力を育てる。</p>	<p>○テーマに基づいた自分の思いや考えをもたせる。そして相手に伝えるための表現方法を指導し、身につけさせる。また、書いた文章を読み返し、文種・形態を踏まえ、自分の考え及び相手の理解が明確になるように、文章構成や表現に関する観点に沿って比較・判断し、よりよい文章に言い換えられるように指導する。</p> <p>○文章の中で重要な部分に気が付けるよう線を引いたり、互いに確認させたりする。そして得た情報を交流、発表し合ったり、相互評価、自己評価、修正をさせたりする。</p> <p>○漢字を正しく習得させるために、漢字スキルを活用したり、定期的に漢字テストを行ったりする。また、普段から文字を丁寧に書くことを指導し、毎日の積み重ねを大事にする。</p>		
社	<p>○歴史に関心が高く、新しいことを知りたいと学習に意欲的に取</p>	<p>○歴史への興味・関心をさらに高めるとともに、理解を深め、</p>	<p>○具体的・視覚的な資料を多く提示することで、興味・関心を</p>		

<p>会</p>	<p>り組む児童が多い。一方で、覚えなければいけないことがたくさんあり、歴史に対して苦手意識をもっている児童もいる。</p> <p>○資料の読み取りや考察が不十分であるため、課題に対する取り組みが浅い。</p>	<p>我が国の歴史や伝統を大切にすることを育てる。</p> <p>○資料の読み取り等基本的な力を育て、課題に対して広く深く考察する児童を育てる。</p>	<p>持続させる。また、単なる暗記をさせるのではなく、歴史の流れを理解させるようにする。</p> <p>○資料の読み取りや学習のまとめでわかったこと、気付いたこと、思ったこと等を書かせ、交流させることで互いの気付きや考察を深める。</p>		
<p>算数</p>	<p>○普段の学級ではあまり発言をしないが、少人数のクラスになると発表できる児童が増えた。一部、発表することに対して消極的な児童がいる。</p> <p>○基礎的・基本的な計算でのケアレスミスをしてしまう児童が多い。</p> <p>○文章問題から、立式できる児童がいる。しかし、立式した根拠を言葉にして説明することに課題がある。</p>	<p>○自分の考えや意見を進んで発表する児童を育てる。</p> <p>○基礎的・基本的な計算の正確さを高める。</p> <p>○演算決定の根拠を自分の言葉で論理的に表現できるようにする。</p>	<p>○発表できない児童には、児童同士で答えを確認させたり、机間指導で自信をもたせるような支援をする（声掛け、ヒントカードなど）。</p> <p>○ケアレスミスをなくすために、補助計算や途中式をきちんとノートに書かせる。また検算をして自分でミスに気が付けるようにする。</p> <p>○計算の意味や計算の仕方を、言葉、数、式、図、数直線を用いて考え、説明する活動をしていく。</p>		
<p>理科</p>	<p>○実験や観察に興味・関心をもって、学習に取り組む児童が多い。</p>	<p>○自ら立てた仮説を検証するための実験方法を考える力を育てる。</p>	<p>○児童が学習内容について疑問をもつような実験や資料の提示を行い、自ら立てた仮説を検証するために「何を調べるかを」意識しながら、実験方法を考えるように指導する。</p>		

	<p>○実験結果をもとに、より妥当な考えをつくりだすといった問題解決の力が課題である。</p>	<p>○自分の仮説と実験結果を照らし合わせて、実験からわかったことに自分なりの言葉で表現する。</p>	<p>○友達と考察を交流させ、より妥当な考えを全体でつくり出す場を設けていく。</p>		
<p>体育</p>	<p>○ソフトバレーなど、チームで協力したり作戦を練って活動したりすることが好きな児童が多い。</p> <p>○走る運動、ボール運動、水泳等、基本的な運動の定着に差がある。</p>	<p>○運動が苦手な児童が安心して学習に取り組めるように、協力しながら互いを認め合う姿勢を育てる。</p> <p>○自らめあてをもち、基本的な動きを体得するとともに、運動すること楽しさや喜びを感じる児童を育てる。</p>	<p>○チームプレーの場合、めあてやめあて実現の方法、個々の役割等を具体的に立てさせ、チームで評価させる。</p> <p>○基本的な動きを自ら体得させるために、個々にめあてをもたせるとともに、グループで互いの動きの長所や短所を観察、意見交換させたり相互評価させたりして技能を高め合う。</p> <p>○個々のめあてに合った学習ができているか、様子を観察し、賞賛、励まし、支援等を行う。</p>		